

## 風の子テイクキャンプ

- 開催日 2018年12月26日
- 会場 黒川青少年野外活動センター（神奈川県 川崎市）
- ディレクター名 工藤 伸也（しんちゃん）

### ■キャンプのねらい

- キャンプという日常と離れた世界で、喜び・楽しさを体験する。
- みんなではじめて体験したこと・チャレンジしたことで感動する。
- これらを通して「またやりたい・行きたい」と自然と子どもから発言される。

### ■同行スタッフ（キャンプネーム）

ねずみ、ラミ、たごたご、えんたー、よもち、ゆっきん、おっづー、みゆきち

### ■活動内容

<午前>  
集合  
黒川青少年野外活動センター到着  
落ち葉プールを作ろう  
昼食

<午後>  
マッチで火熾しに挑戦  
おやつを作ろう  
～ポップコーンづくり～  
おやつタイム  
黒川青少年野外活動センター出発  
解散



施設に到着し、まずは落ち葉集め。腕をめいっぱい広げて拾いました。



落ち葉でプールを作りました。みんなで飛び込み、全身落ち葉まみれ！



天気が良かったので外でお昼ごはん。まさに「子どもは風の子」。



自分でマッチから熾したたき火を嬉しそうに眺めています。



小学校2年生はファイヤースターターでの火熾しに挑戦しました。



たき火を熾せたみんなに、ご褒美のポップコーン！おいしいね！

### ■キャンプのエピソード

#### 外遊びの楽しさ

今回は半分以上の子どもがキャンプ初体験で、はじめはみんな緊張した様子でした。しかし様々な外遊びをすることで、だんだんと打ち解けあい、めいっぱい楽しんでいました。中でも落ち葉プールの時間では、たくさんの落ち葉を集め「見て見て！」と小さな手で拾った、たくさんの落ち葉を自慢げに見せてくれたり、今日出会ったお友達同士で落ち葉をかけあったりと多くの笑顔を見ることができました。ここでの経験が子どもたちにとって「また遊びたい」という原動力になってくれれば嬉しいです。

#### 火を扱う大切さ

何人か「火を見ること自体はじめて」という子がいました。そんな子にとって、このキャンプは特に大きな学びがあったことでしょう。「火は暖かいが触ると火傷する」という当たり前の知識や「火は調理など便利な力がある」ということを実際に体験することで、その学びを深めることができました。たき火ができた時、子どもたちから「やった！」という言葉が自然と発せられ、大きな達成感を味わったのだと思っています。感じた気持ちを、またキャンプに参加したときに活かして欲しいと思います。